

## 自衛隊神奈川地方協力本部

## 陸自武山駐屯地において高校生の職場体験を支援

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、8月22日（火）、陸自武山駐屯地で行われたKTC中央高等学院厚木キャンパスの高校1年から3年の男子生徒5名、教諭1名の職場体験を支援した。

駐屯地では、第31普通科連隊で基本教練やロープワーク、救急法、体力検定の体験学習を行なった。初めての経験に、生徒たちは隊員のユーモアあふれる説明に笑顔をみせながらも真剣に聞き入り、習得しようと繰り返し練習していた。

高機動車の体験試乗では、乗車前から運転席や計器類を覗き込んだり、タイヤや車体を触るなど、車両に興味津々の様子だった。

職場体験を終えた生徒は「貴重な体験ができた」と感想を述べ、自衛隊を受験予定の3年生の生徒は「入隊への気持ちが強まった」と広報官に伝えていた。

厚木募集案内所は「今後も職場体験の支援を通じて、自衛隊への理解促進と募集成果の拡大につなげていきたい」としている。



指導を受け結案に挑戦する生徒たち（陸自武山駐屯地で）



職場体験に参加した生徒ら（陸自武山駐屯地で）

## 市街地広報から母親の資料請求がきっかけで海上自衛官に

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、8月23日（水）、海自横須賀教育隊で挙行された第367期自衛官候補生課程修業式に参列した。

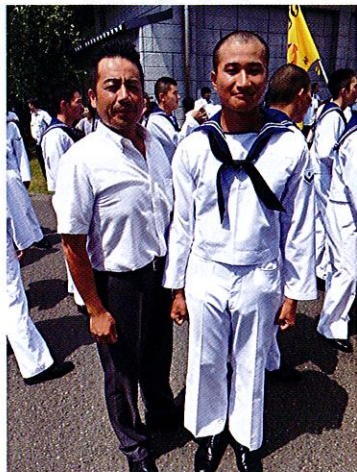
市ヶ尾募集案内所を通じて入隊した黒田 匠2士は「式に来て頂けて嬉しいです。ありがとございませう」と立派に成長した姿を見た。

黒田2士は、母親が商業施設「たまプラーザ テラス」（横浜市都筑区）で買い物中、市街地広報をしていた広報官からハガキ付のリーフレットを受け取り、後日資料を請求、広報官がパンフレットを持ち訪ねたのをきっかけに自衛隊に興味を持ち、入隊した。

修業式後に行われた午餐会で、息子と再会した母親は「まさか私からの資料請求で、息子が自衛官になるとは思ってもいませんでした。あの時、ご縁があつて本当に良かったです。4月とは別人のような息子を見て成長を感じました」と話した。

黒田2士は「自分が海上自衛官になるとは、本当にわからないものです」と話し、新任地である館山基地に勤務経験がある広報官に基地の様子や生活環境について尋ね、部隊での勤務に期待している様子だった。

市ヶ尾募集案内所は「今後も、いかなる情報も一件一件大切に、1人でも多くの若者を輩出できるように募集活動に励んでいきたい」としている。

修業を迎えた黒田2士（右）と市ヶ尾募集案内所広報官（左）  
（海自横須賀教育隊で）

## 横須賀教育隊一般海曹候補生課程修業式にて家族と共に祝福

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、8月24日（木）、海自横須賀教育隊において挙行された第10期一般海曹候補生課程401名の修業式に修業生家族と共に参列した。

約4ヶ月間の教育課程を終えて、門出の日を迎えることとなった修業生たちは、真っ白なセーラー服に身を包み、緊張した面持ちながらも晴れ晴れとした表情で会場に現れた。

市ヶ尾募集案内所から入隊した田邊 隼也2士は、最優秀等賞、体力検定1級の表彰を受け、参列していた家族は「本人から受賞を聞いていなかったのに、ビデオを撮る手が震えました」「まさか息子が受賞できると思っていませんでした。頑張ってくれたようで嬉しいです」と話した。

その後行われた午餐会では、修業生にも笑顔がみられ、家族と共に食事を楽しんでいる様子であった。受賞した田邊2士は、現在大湊航空基地隊にて任務にあたり、希望職種教育課程へ進むのが楽しみであると担当広報官に話していた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も入隊者家族と後輩自衛官となった彼らと連携し、サポートするとともに1人でも多くの後輩育成につながるよう募集活動に励んでいきたい」としている。

最優秀等賞の表彰を受ける田邊 隼也2士  
（海自横須賀教育隊で）